

1 国語に関する調査

【特長】

- 文中における情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することができる。
- 要点をまとめる学習を繰り返し行ってきたことにより、目的を意識して中心となる語や文を見付けて、要約することができる。

【課題】

- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題がある。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。今後も繰り返し漢字にふれる機会を増やす必要があると考える。

2 算数に関する調査

【特長】

- 「変化と関係」の領域においては、繰り返し練習する機会を設け習熟を図ってきたことにより、伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴や比例の関係を考察することができる。
- 図形を構成する要素に着目して、正方形の意味や性質、構成の仕方について理解している。

【課題】

- () を用いた式や加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることに課題がある。
- 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断することに課題がある。今後も示された場面の解釈を丁寧に行い、課題解決につなげていく必要があると考える。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 将来の夢や目標をもち、学校に行くことが楽しいと回答している児童が多い。また、学校での学習では、先生がわかるまで教えてくれているという肯定的な回答が多かった。
- 国語や算数の学習や ICT 機器の活用をすることは大切であり、将来に役立つと回答している児童や英語が好きな児童が多い。

【課題】

- 学校生活や学習を通して、自分の考えをもって様々なことに挑戦し、やり遂げる経験を繰り返し積んでいく必要がある。
- 朝食を摂らない児童や、計画的に家庭学習に取り組んでいない児童が多い。基本的な生活や学習習慣の大切さを伝える指導を継続的にしていく必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 授業のはじめに学習目標を示し、学習の見通しをもたせ、最後のふり返りでは、学んだことを他教科や生活等に幅広く生かしたり、次につなげたりする視点をもたせていく。
- 理解の難しい学習内容があった時には、わからないと言えるような環境を整えるとともに、あきらめずに向き合えるように、認めたり励ましたりする声かけや関わりを増やしていく。
- 課題解決に向けて各自が考え、それを交流し合う中で、互いの違いや良さに気付きながら考えを広げたり、深めたりする経験を積めるよう取り組んでいく。
- ICT機器の活用を通じて、児童の興味・関心を高める教材の工夫をしたり、児童が自分に合った学習や調べたことの発表や交流等をしたりすることにつなげる。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 幸せな気持ちをもって生活している児童が多い一方で、困りごとや不安を感じることもあるようです。見守りや声かけをご家庭においても引き続きお願いします。
- 学年や世代を超えていろいろな人との関わりが期待できる地域の様々な行事が復活しています。児童の参加への声かけにご協力をお願いします。
- 基本的な生活や学習の習慣を身に付けるために、毎日朝食を摂ることや家庭学習に計画的に取り組むことへのご協力や励ましをお願いします。